

PEITの有無コード

1 有 2 無 9 不明

項目番号	項目名	別名	記載・記載不可の可否
610	温熱療法		●

初回治療における温熱療法の有無に関する記載。

温熱療法の有無コード

1 有 2 無 9 不明

項目番号	項目名	別名	記載・記載不可の可否
620	レーザー等治療（焼灼）		●

初回治療におけるレーザー等治療（焼灼）の有無に関する記載。

レーザー等治療（焼灼）の有無コード

1 有 2 無 9 不明

項目番号	項目名	別名	記載・記載不可の可否
630	治療情報自由記載欄		○

治療に関する情報をテキストで自由に記載

【予後情報】

項目番号	項目名	別名	記載・記載不可の可否
640	生存最終確認日		● 年月のみ拠点病院集計

予後調査実施時点で生存が確認されている最終の日付を記録する。

項目番号	項目名	別名	記載・記載不可の可否
650	死亡日		● 年月のみ拠点病院集計

項目番号	項目名	別名	記載・記載不可の可否
660	結果	生死区分	●

予後調査実施時点での生存・死亡の区分を行う。

項目番号 720、項目番号 730 での入力確認のためとして用いる項目

結果のコード

0：生存 1：死亡

〈死亡情報〉

項目番号	項目名	別名	必須・推奨・オプションの別
670	死因		○

原発がんによる原死因か他死因かを区別する。必須ではないが、他死因の場合は、死因をテキスト入力しておく
とよい。

死因のコード

1：原病死 2：他部位のがん死 8：他病死 9：不明

項目番号	項目名	別名	必須・推奨・オプションの別
680	死因テキスト		○

原死因、直接死因について、テキストで追加記載

項目番号	項目名	別名	必須・推奨・オプションの別
690	死亡診断書発行		○

死亡診断書がどこで作成されたか、自院、その他で区別する。

死亡診断書発行のコード

1：自院 8：その他 9：不明

項目番号	項目名	別名	必須・推奨・オプションの別
700	死亡場所		○

自院、他院、自宅、その他を区別する。

終末期をどこで迎えたかを記録しておくことは、必須ではないが病院管理上、重要な項目である。

死亡場所のコード

1：自院 2：他院 3：自宅 8：その他 9：不明

項目番号	項目名	別名	必須・推奨・オプションの別
710	解剖の有無		○

死亡時の解剖の有無を記載。

解剖の有無のコード

1 有 2 無 9 不明

項目番号	項目名	別名	必須・推奨・オプションの別
720	調査方法		●

予後情報の調査方法（入手経路）を記載。

調査方法のコード

1：来院情報 2：死亡退院情報 3：役場照会 4：地域がん登録情報 8：その他

項目番号	項目名	調査日	備考
730	調査日		○

予後情報調査日を記載

項目番号	項目名	調査日	備考
740	国籍		○

役場照会で、住民票照会か、外国人登録への照会かを区別するために用いる。

国籍コード

○：日本人 1：外国人 9：不明

項目番号	項目名	調査日	備考
750	本籍		△

本籍は、プライバシー保護の観点から、近年、把握が困難になりつつあるが、本籍の判明者では法務省の許可を受けることにより、本籍地の役場に戸籍抄本を照会することが可能となり、これにより生死を確実に把握することができる。さらに、死亡者では、死亡届に添付された死亡診断書の記載事項証明の交付を、同じく法務省の許可を得て関係の法務局に願い出ることができる。

項目番号	項目名	調査日	備考
760	筆頭者		△

項目 830 本籍と同様の理由

項目番号	項目名	調査日	備考
770	最新郵便番号		○

予後調査の際に必要

項目番号	項目名	調査日	備考
780	最新住所		○

予後調査の際に必要

項目番号	項目名	調査日	備考
790	世帯主		○

予後調査の際に必要